

## 都留から釧路へ 「ふれあいの旅」訪問



釧路湿原をカヌーで下る

釧路の子どもたちが訪れた一週間後には、都留の子どもたちが釧路市を訪れました。

一行23名は、釧路湿原をカヌーで下ったり、渡辺体験牧場で牛の乳しぼりやバターづくりに挑戦したりと、スケールの違う大自然を目の当たりにし、驚いた様子でしたが貴重な体験をすることができました。また、増田誠画伯が縁で結ばれた両市。画伯を偲んで生涯学習センターなど二会場で写生も行われ、子どもたちは真剣な表情で描いていました。

様々な行事を通して友情がますます深まったことでしょう。



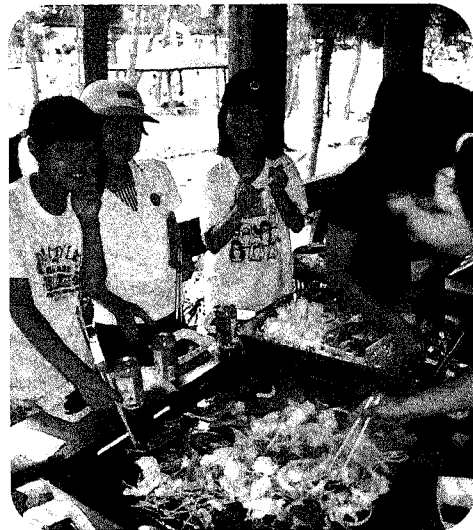
あれ、出ないわよ

## 友好都市釧路から 「子どもの船」来市



釧路の子どもたちが寸劇を披露

北海道釧路市から子どもの船一行53名が都留市を訪れました。歓迎式では、プレゼントの交換や寸劇の披露など和やかな雰囲気のうちに進み、旅の疲れも感じさせない子どもらしい一面を見せてくれました。また、市内の小中学生と鹿留川でバーベキューやますのつかみどりを、グリーンロッジでは、カンを使ってのハンゴウすいさんやキャンプファイアーを楽しみ、都留の自然を満喫しました。



なかなかおいしそうでしょ

## 谷一少年野球クラブ関東大会へ出場

第三十四回山日YBS杯少年野球県大会で、谷一少年野球クラブが見事準優勝に輝き、念願の関東大会出場を手にしました。

都留の予選では、学童軟式野球大会での敗戦を無駄にせず、全員野球で県大会出場を果たし、初戦の相手は学童県大会準優勝チーム。胸を借りるつもりでぶつかった加納岩を特別延長で破り、すつかり波に乗ってしまった谷一は、準々決勝、準決勝を粘りつよく勝ち上がり決勝に進みました。

決勝では、惜しくも敗れましたが、全力でプレーしたナインに悔いはありませんでした。銀メダルを胸に市役所を訪れたナインは、都倉市長からねぎらいの言葉をかけられると、満足げな表情を浮かべ、関東大会での活躍を胸に秘め、記念写真に収まりました。

なお、関東大会では神奈川県代表チームと対戦し、二対三で惜敗しましたが山梨県の代表らしく、のびのびとしたプレーで健闘しました。



市長に準優勝の報告